

臨床腫瘍研究所・医局合同セミナー

演 題 : Translational Research at University of Texas M.D. Anderson
Cancer Center Thoracic Molecular Pathology Lab
MD アンダーソンがんセンター胸部分子病理部門における
トランスレーショナルリサーチ

発表者 : 藤本 淳也 准教授
Thoracic Molecular Pathology Lab (Dr. Wistuba's Lab),
UT M.D. Anderson Cancer Center

日 時 : 平成25年 10月 22日 (火) 午後6時より

場 所 : テレビ会議室

要旨

我々が所属するThoracic Molecular Pathology Lab (TMPL) は病理部門のDept. of Translational Molecular Pathologyに所属し、臨床科（腫瘍内科、胸部外科、放射線科）と基礎講座部門を有機的に結びつける役割を担っている。また我々はThoracic Tissue Bankも同時に運営し、採取されたすべての血液、細胞、組織を保存、管理、配分の責任を負い、プロジェクトのリーダー、共同研究者として活動を行っている。現在MDアンダーソンには約30程の各臓器の組織バンク部門が存在するが我々が運営するThoracic Tissue Bankは最も古くからある8つの部門の1つである。肺がんのみを取り上げて詳細にデータが揃っている常時凍結材料3000検体が使用可能な状態を保持し、また1つの検体を複数のプロジェクトと複合させ、また将来に向けて現在進行形で前向き組織採取を行っている。この前向きな組織採取活動に関連するプロジェクトの1つに術前治療されていない腺癌と扁平上皮癌と共に対応する正常気管支上皮を複数採取し、分析を行っている。今回分析によって得られたデータと共に今後MDアンダーソンで行われようとしているTissue baseのトランスレーショナルリサーチの一部を紹介する。

連絡先: 埼玉県立がんセンター臨床腫瘍研究所 事務室
048-722-1111 (内線 4601)

対象者: 関心のある方 (事前申し込み不要)